

科目名	芸術（音楽）	学年	1年共通	使用教材	【教科書】MOUSA 教育芸術社
		単位数	2単位		【副教材】 ヒットソング大全集 2009年版(主婦と生活社)

### 学習目標

<p>①音楽活動の楽しさを体験することを通して、音や音楽への興味・関心を養い、音楽によって生活を明るく豊かなものにする態度を育てる。</p> <p>②音楽表現の豊かさや美しさを感じ取り、基礎的な表現の技能を身に付け、創造的に表現する能力を育てる。</p> <p>③多様な音楽に興味・関心を持ち幅広く鑑賞する能力を育てる</p>
---

### 評価

学力測定内容	1)歌唱テスト 3)ピアノ演奏(コード)	2)鑑賞に関する作文 4)楽典は平常授業にて評価する。
--------	-------------------------	--------------------------------

### 学習内容

学期	学習内容	学習の目的
1	1. 歌唱Ⅰ(教科書) 2. 歌唱Ⅱ 3. 鑑賞(ビデオ及びDVD使用) 4. 器楽(ピアノ) ピアノ演奏。基礎的な音楽要素を学習。 5. 楽典(音楽の基礎知識)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・曲の雰囲気を感じ取り、基礎的な歌唱の技能を身につける。</li> <li>・いろいろな用語や記号を読み取り、発声や発音・姿勢などの基礎を身につけ、ふさわしい声量で表現する。</li> <li>・吹奏楽に用いられる楽器や音楽要素に関する知識を習得し理解する。</li> <li>・楽譜に関する知識を身につけ、音や音楽への興味・関心を養う。</li> </ul>
2	1. 歌唱(教科書) 2. 鑑賞(ビデオ及びDVD使用) 3. 器楽 I ハーモニカ演奏 II ピアノによるコードネーム演奏 4. 創作 ハーモニカ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・楽器の発音原理を理解し、演奏技術を習得する。</li> <li>・和音の成り立ちを理解し、ハーモニカを体感・演奏する。</li> <li>・創作で音楽を楽しむ。</li> </ul>
3	1. 歌唱(教科書) 2. 鑑賞Ⅰ 3. 世界三大テノール(パパロッチ/カレラス/ドミンゴ) 4. 器楽 ハーモニカ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・音楽映画に接することにより、音楽を愛好する心情を養う。</li> <li>・世界三大テノールと呼ばれる男声歌唱に接し、音楽による感動を味わう。</li> <li>・楽器の発音原理を理解し、演奏技術を習得する。</li> </ul>

科目名	芸術（美術）	学 年	1年共通	使用教材	【教科書】高校観術Ⅰ
		単位数	2単位		【副教材】スケッチブック

### 学習目標

<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 『自然美とその未来予想図』＝心を遊ばせる・どんどん見せる・感動させる＝</li> <li>・ 美術の幅広い創造活動を通して、ものの見方や様々な分野の知識を統合しながら自己表現するとともに、地域の美術文化活動にも参加する。</li> <li>・ 美術の幅広い活動を通して、美的体験を豊かにし、生涯にわたり美術を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばし、美術文化についての理解を深める。</li> </ul>
--

### 評 価

作品（作品完成時） レポート（鑑賞の後）
----------------------

### 学習内容

学 期	学習内容	学習の目的
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ オリエンテーション</li> <li>・ 樹を描く(鉛筆デッサン)</li> <li>・ 鑑賞(展示)</li> <li>・ 日本美(表現・鑑賞)(鳥獣戯画の描写)</li> <li>・ 色と形のイメージ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 関心・意欲・態度 (意欲的な制作態度)</li> <li>・ 芸術的な感受や表現の工夫</li> <li>・ 創造的な表現技能 (基本技能を習得し活用)</li> <li>・ 鑑賞能力Ⅰ (良さを理解し、まとめる)</li> <li>・ 鑑賞能力Ⅱ (展示等良さを引き出す)</li> <li>・ 作品展参加・開催 (時期は未定)</li> </ul>
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 日本の美と表現</li> <li>・ 日本画で描く</li> <li>・ 現代アート(鑑賞)</li> <li>・ 年賀状版画</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 関心・意欲・態度 (意欲的な制作態度)</li> <li>・ 芸術的な感受や表現の工夫 (創造的な表現の構想)</li> <li>・ 創造的な表現技能 (基本技能を習得し活用)</li> <li>・ 鑑賞能力Ⅰ (良さを理解し、まとめる)</li> <li>・ 鑑賞能力Ⅱ (展示等良さを引き出す)</li> <li>・ 作品展参加・開催</li> </ul>
3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 森の生き物(彫刻)</li> <li>・ マスコットキャラクターの試作</li> <li>・ 自然の中に展示 (写真データから展示)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 関心・意欲・態度 (意欲的な制作態度)</li> <li>・ 芸術的な感受や表現の工夫 (創造的な表現の構想)</li> <li>・ 創造的な表現技能 (基本技能を習得し活用)</li> <li>・ 鑑賞能力Ⅰ (良さを理解し、まとめる)</li> <li>・ 鑑賞能力Ⅱ (展示等良さを引き出す)</li> <li>・ 作品展参加・開催 (3月)</li> </ul>

科目名	芸術（書道）	学年	1年共通	使用教材	【教科書】東京書籍『書道Ⅰ』
		単位数	2単位		【副教材】なし

### 学習目標

<ul style="list-style-type: none"> <li>・書道の幅広い活動を通じて、書を愛好する心情を育てる。</li> <li>・完成を豊かにし、書写能力を高める。</li> <li>・表現と鑑賞基礎的な能力を伸ばす。</li> <li>・古典を鑑賞から書道史を学び、楷書、行書、平仮名を美的感覚で向上させ、表現力を習得させる。</li> </ul>
---

### 評価

<ul style="list-style-type: none"> <li>○清書作品提出（毎時間）</li> <li>○漢字創作作品。（団扇、色紙、半切作品、楷書、行書・篆刻）</li> </ul>
---

### 学習内容

学期	学習内容	学習の目的
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 導入、基本点画の練習</li> <li>・ 古典鑑賞、楷書の学習</li> <li>・ 高野山競書大会出品作品制作</li> <li>・ 臨書、唐代の楷書</li> <li>・ 漢字創作1</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 文房四宝（筆、墨、硯、紙）の種類を学び、姿勢、執筆法を習得する。起筆、収筆、点画。</li> <li>・ 書道史年表から、古代文字から現代の書に至るまでの文字の変遷を学ぶ。また、中国と日本を対比させいかに漢字や文字が中国から影響を受けたか理解をする。</li> <li>・ 唐代の書（四大家）を鑑賞し、臨書する。</li> <li>・ 団扇に漢字創作。</li> </ul>
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 古典鑑賞、臨書、北魏の楷書</li> <li>・ 導入、行書の学習</li> <li>・ 蘭亭序の臨書</li> <li>・ 漢字創作2（色紙）</li> <li>・ 篆刻の学習</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 方筆、円筆の違いを理解させる。</li> <li>・ 行書の用筆、運筆法。字形、筆順の変化など、行書の特徴、楷書との違いを理解する。</li> <li>・ 篆刻作品制作。雅印の制作。</li> </ul>
3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 導入、仮名の学習</li> <li>・ 漢字仮名交じり文の鑑賞と学習</li> <li>・ 漢字創作3（色紙作品）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 仮名の成立を説明し、種類と「美について」学ぶ。仮名の筆使い（縦、横の線、転折、円運動結び）とそれぞれの基本的な筆使いを学ぶ。</li> <li>・ 平仮名の単体、連綿の表現、筆使い、リズムを習得する。</li> <li>・ 変体仮名を学ぶ、連綿作品、散らし書き作品。</li> <li>・ 詩文を書く。漢字、仮名の調和。作品制作、紙面の収め方。余白の取り方を学ぶ。</li> </ul>

科目名	芸術演習	学年	3年I類 選択者	使用教材	【教科書】なし
		単位数	2単位		【副教材】ペン字ノート

#### 学習目標

- ・ 実用に使用する形式や、基本常識を学ばせる。旧字体の筆順、造形を学ばせる。
- ・ 文章の書き方、縦書き、横書きの方法、美しい文字の書き方を学ばせる。
- ・ 仮名の表現法、漢字仮名交じり文の表現を会得させる。

#### 評価

- ・ 清書提出作品（毎時間）
- ・ ペン字ノート提出（毎時間）

#### 学習内容

学期	学習内容	学習の目的
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 導入、基本点画の練習 1</li> <li>・ 高野山競書大会出品作品制作 2</li> <li>・ 硬筆の学習1（片仮名、平仮名）2</li> <li>・ 硬筆の学習2（履歴書、旧字体）2</li> <li>・ 漢字、楷書、漢字仮名交じり文 4</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 書道の用具用材を説明、理解する。</li> <li>運筆方法（起筆、収筆、点画）を習得する。</li> <li>永字八方よる確認。</li> <li>・ 高野山競書大会出品。（半紙作品）</li> <li>外部作品出品により、評価を受ける。成績に反映。</li> <li>・ 直線的な表現の片仮名。曲線的な表現の平仮名の特徴の違いを確認し、硬筆（ペン字）の姿勢、執筆法、運筆法を学び、習得する。</li> <li>平仮名や片仮名の文字の発祥や、美的表現の方法を身につける。</li> <li>・ 履歴書の体裁の整え方、旧字体の筆順、造形を理解し、実用書を身につける。</li> <li>・ 日常的に何気なく使用している。「漢字仮名交じり」は日本唯一の日本語であることを認識をし、再確認をする。</li> <li>・ 美しい文章を書くために、漢字、平仮名の調和中心の揃え方、脈絡の変化を学ぶ。</li> <li>・ 文章「漢字、仮名交じり文」の縦書き、横書きを体裁書くための法を学び、会得する。</li> </ul>

2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・漢字、行書、縦書き、横書き</li> <li>・葉書表、裏書</li> <li>・封筒書き、時候の挨拶</li> <li>・小筆の学習・実用書 (生活の中の書)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・行書の用筆、運筆法。字形、筆順の変化など、行書の特徴、楷書との違いを理解する。</li> <li>・美しい文章を書くために、漢字、平仮名の調和中心の揃え方、脈絡の変化を学ぶ。(流れに注意)</li> <li>・文章「漢字、仮名交じり文」の縦書き、横書きを体裁書くための法を学び、会得する。</li> <li>・美しい文章を書くために、漢字、平仮名の調和中心の揃え方、脈絡の変化を学ぶ。</li> <li>・封筒・葉書・便箋の書式の基本を理解する。贈答用語の書き方、名前の書き方を(体裁よく)会得する。</li> <li>・生活の中の書は手紙、カード、看板等さまざまな形で見ることが出来る。縦書きや横書きの書式を理解するとともに、用具、用材を選び、相手の礼儀を忘れずに、正確に美しく書くことの基本を身につける。</li> <li>・小筆を使用し、墨を使用し祝い袋、封筒書き等を体験、実践する。</li> </ul>
3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毛筆を使用し八つ切りサイズに漢字作品を制作する</li> <li>四字熟語等で、楷書、行書、草書等で表現をする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年間の授業の集大成として、「漢字仮名交じりの書」や、「楷書、行書、草書等」で自由に表現をする。</li> <li>色紙に創作。書風調べに、五体字類等を使用し学ぶ</li> </ul>